



写真/文 青沼 豊晶

ALPS PRESS

2010年 12月 6日



長野県塩尻市塩尻町260番地 TEL0263 - 52 - 1150

プチプチを巻いています。

厳しかった残暑、そして、忙しかった搾汁期がついこの間のように思えます。しかし、すでに季節は冬。ぶどうの樹たちは、信州の厳しい寒さに耐えながら、暖くなるのを待ちます。

生産者は、お礼散布・お礼施肥などを終え、葉(わら)巻き、剪定、樹の皮はぎなど、まだまだ作業が続きます。決して春までゆっくりお休みなどというわけにはいきません。

自社農園では、葉巻きの葉の代わりにプチプチを使用します。いくら地球温暖化とはいえ、そこは信州桔梗ヶ原、ひと冬に数回はマイナス10℃以下の日もあるんです。

※葉(わら)巻き

ぶどうの樹を寒さから守るため、根元に葉(わら)を巻きます。(葉の代用に真産(ござ)、ビニールなどを使用している圃場も見かけます。)



葉



ござ



ビニール

自社農園 メルロー 棚栽培

今年、一本仕立てから、スマート仕立てに改良を始めました。



袋と傘の効果か、ほとんど病気もなく収穫できました。

病虫害の予防と鳥の食害からぶどうを守るために、袋と傘をかけました。



収穫には試験室から応援をもらいました。(当社試験室のきれいどころ3人)